



編集発行：宇宙航空研究開発機構 セキュリティ・情報化推進部
スパコン活用課 JSSN編集班

はじめに

JAXA スパコン JSS2 (JAXA Supercomputer System Generation 2) は、2014年10月からの第一期運用、2015年4月からの第二期運用を経て、2016

年4月に第三期の運用を開始致します。今回のJSS2 ニュースでは、第三期 JSS2 の構成と JSS2 利用成果報告の目的について紹介致します。

第三期 JSS2 について

JSS2 システム概要図に示す様に、JSS2 は計算システム (SORA-MA)、プレポストシステム (SORA-PP)、大メモリ計算システム (SORA-LM)、大規模ストレージ (J-Space) などから構成されており、エネルギー削減を目指した先進的なシステムとなっています。第三期の計算システムの総ピーク性能は、第二期の 1.31PFLOPS から 3.49PFLOPS へと増強されます。また、インターネット等を経由した遠隔

地からの利用においては、国際学会 SC での実証デモや受賞歴のある高速通信技術を元に、ファイル転送の高速化を図っています。

なお、JSS2 での愛称「宙：SORA (Supercomputer for earth Observation, Rockets, and Aeronautics)」は、宇宙航空分野での研究開発に貢献できるようにとの思いを込めて名付けました。

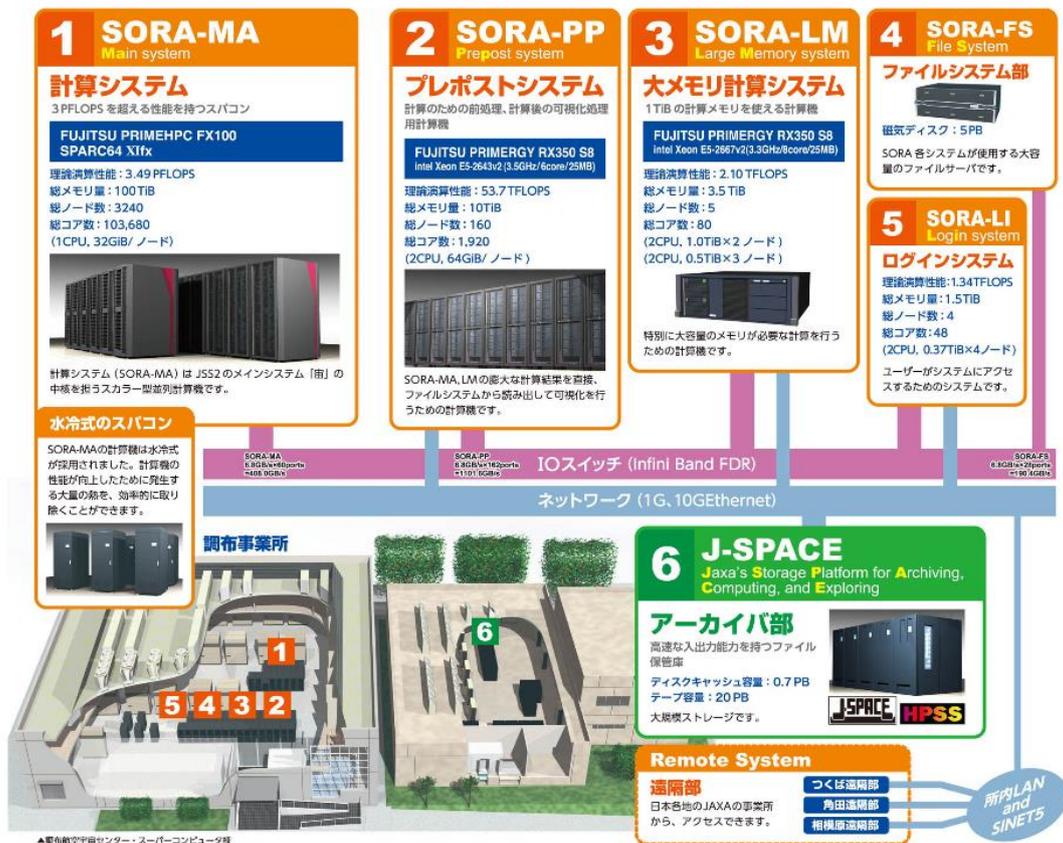


図 第三期 JSS2 システム概要図

JSS2 利用成果報告について

3/1(火)から、2016年度の継続利用申請の受付を開始致しました。毎年利用申請時には、JAXAスパコンの成果発信のために前年度分の利用成果報告の提出をお願いし、冊子化しておりましたが、この度、JAXAスパコンの有効利用を進めるために、作成目的の見直しを行いました。

その結果、JSS2利用成果報告は、「海外の人々を含む研究者、組織のマネージャ、及び一般の方々に対してJAXAスパコンの重要性と活動成果を広めること」を目的に作成することに致しました。そのため、JSS2利用成果報告はスパコン運用側の情報発信資料にとどまらず、利用成果報告の作成者であるユーザの皆様にとっても有益な情報発信ツールとして使用可能な内容に改めるべく検討を進めていく所存です。

その第一歩として、2016年度以降は、利用成果を冊子化するだけでなく、冊子の英語化・デジタルコ

ンテンツ化によるJAXAスパコンの情報発信を計画しております。なお、デジタルコンテンツ化の試行においては、ユーザの皆様には、「JSS2利用による解析結果をもとに作成されたデータ・デジタルコンテンツ(図表画像、動画等公開可能なもの)」のご提供をお願い致します。データ・デジタルコンテンツのご提出は必須とはしておりませんが、できるだけ全スパコンユーザの皆さまから提供頂きたいと考えております。

ご提出頂くにあたって、可視化作業が必要となる場合には、積極的に作業支援致します。なお、可視化作業支援依頼や疑問・質問等につきましては、下記のスパコン運用窓口宛にご連絡頂ければ可能な限り迅速丁寧な対応を致しますので、お手数ですがご協力をお願いいたします。

その他

JSS2の本格稼働にあたり、以下のようなユーザ説明会等を適時開催する予定です。なお、テーマ、開催時期、内容については検討中です。

- ・新規ユーザ向け JSS2 利用案内
- ・ソースコード改善ツールの紹介
- ・可視化ソフトウェア等の紹介
- ・ICEM/CFD 製品紹介
- ・J-SPACE を含めたストレージ装置全般
- ・Tecplot360EX 製品紹介

- ・FieldView/Pointwise 製品紹介
- ・AVS/Express 製品紹介
- ・中級者向けチューニング

窓口業務の受付時間や休業日などについては JSS2 ポータル (<https://www2.jss.in-jaxa/>) の「運用情報」をご覧ください。

また、JSS2の運用や講習会などに対するご意見やご要望などがございましたら JSS 運用窓口までお気軽にお知らせください。



JSS2 に関するお問合せ：

セキュリティ・情報化推進部 スパコン活用室
スパコン運用窓口 info@jss.jaxa.jp

JSS2 公開 HP <https://www.jss.jaxa.jp/>

☆JSS2News は JSS2 公開 HP でもご覧になれます。